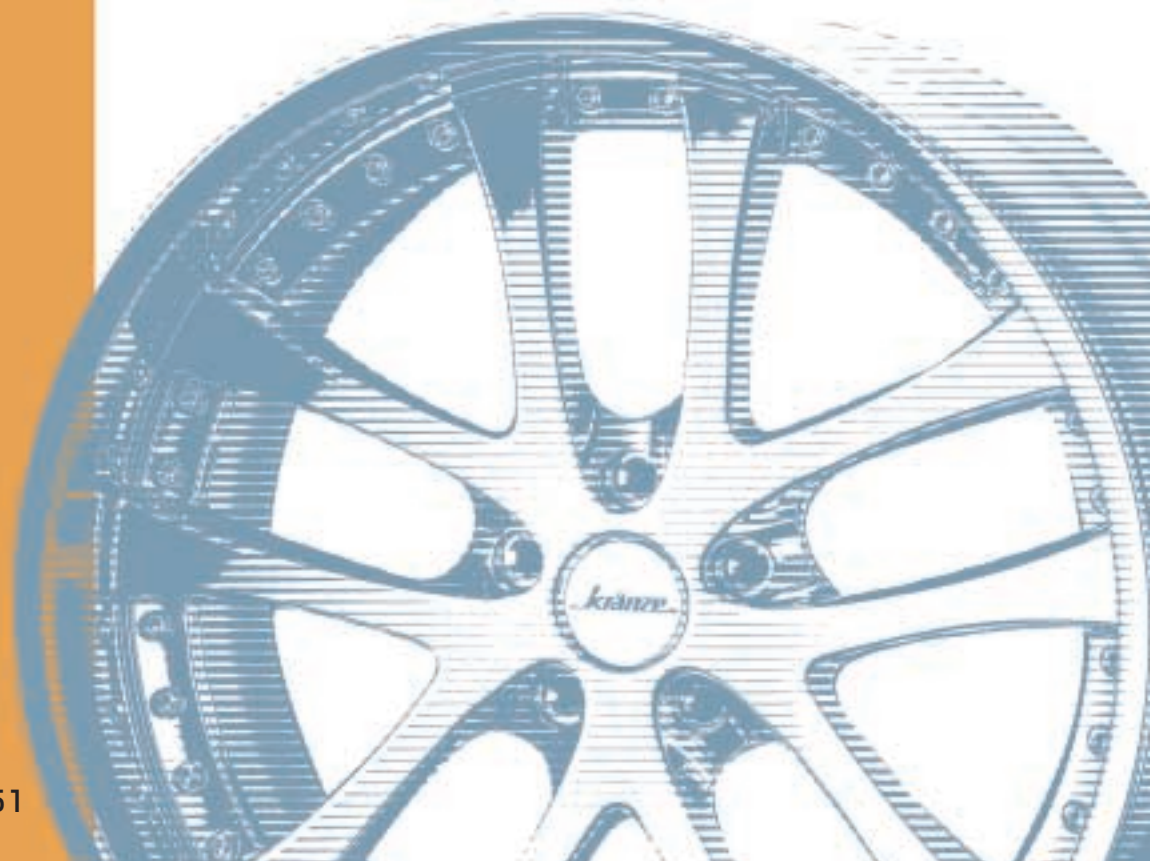


39th

第39期 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

weds
株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ.....	2
決算ハイライト(連結).....	3
第39期の営業概況(連結).....	4
連結財務諸表.....	5
創業40周年ルネッサンス運動.....	7
NEW PRODUCTS.....	8
TOPICS.....	9
会社の概要・株式情報.....	10

●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて第39期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の当社業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、中国等アジア向け輸出と国内デジタル家電販売の増勢等により景気は漸く上向きに転じましたが、個人消費と雇用は改善が遅れており回復感に乏しい状況で推移しました。自動車用品業界にあっては、国内新車販売台数が乗用車を中心に前年比若干増加しましたが、アフターマーケットのカー用品総需要は消費低迷や暖冬の影響等により引き続き低調に推移したと見込まれています。

こうした環境下、当社は全力を挙げて業績の確保に努めましたが、売上高は計画を若干下回り、経常利益と純利益は計画を下回りました。

なお、当社は平成15年10月1日付で愛知県安城市他において営業しておりました小売事業部・携帯電話代理店事業部および開発営業部を（株）バーデンとして会社分割しました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高21,746百万円、経常利益244百万円、当期純利益105百万円になりました。

なお当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、長期安定かつ配当性向重視の利益配分を基本方針とし、当期の期末配当につきましては1株当たり5円とさせていただき、中間配当とあわせて年間では1株当たり10円の配当とさせていただきたいと存じます。

当社は本年4月より第40期に入っております。この第40期をウェッズ・ルネッサンス元年と位置付けて、これからの10年を大いなる飛躍の年にするために挑戦的で素晴らしい企業を目指して精進してまいります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年 6月

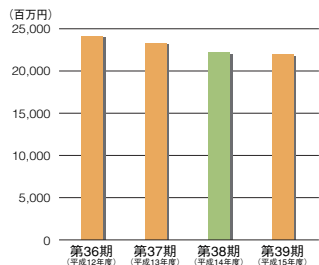
代表取締役社長 川口 修

●決算ハイライト（連結） ※第38期は単体決算です。

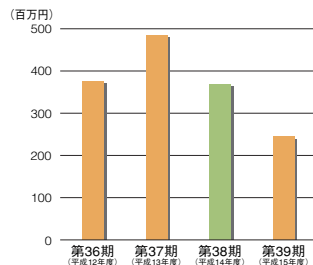
39th

■ 単体 ■ 連結

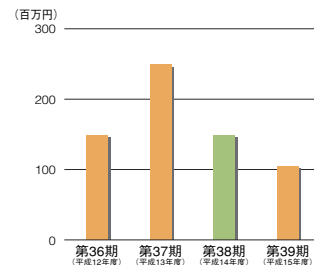
売上高



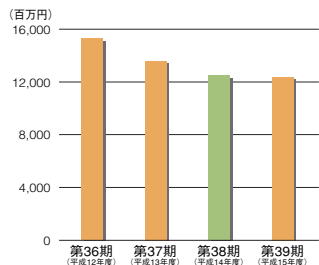
経常利益



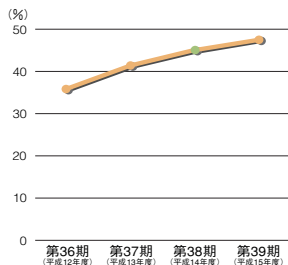
当期純利益



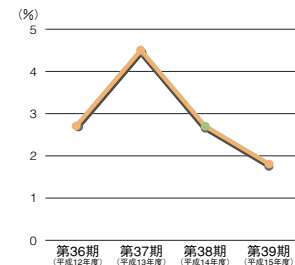
総資産



株主資本比率



株主資本利益率



項 目		第36期 (平成12年度)	第37期 (平成13年度)	第38期 (平成14年度)	第39期 (平成15年度)
		連結	連結	単体	連結
売上高	(百万円)	24,160	23,290	22,136	21,746
営業利益	(百万円)	328	353	350	326
経常利益	(百万円)	376	484	369	244
当期純利益	(百万円)	149	249	149	105
総資産	(百万円)	15,271	13,610	12,490	12,406
株主資本	(百万円)	5,462	5,623	5,610	5,877
株主資本比率	(%)	35.8	41.3	44.9	47.4
株主資本利益率	(%)	2.7	4.5	2.7	1.8

●平成15年10月1日付で、流通事業本部（小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部）を子会社（株）バーデンに分社化しましたので、第39期に連結決算が復活しました。

●第39期の営業概況（連結）

当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国等アジア向け輸出と国内デジタル家電販売の増勢等により景気は漸く上向きに転じましたが、個人消費と雇用は改善が遅れており回復感に乏しい状況で推移しました。自動車用品業界にあっては、国内新車販売台数が乗用車を中心に前年比若干増加しましたが、アフターマーケットのカー用品総需要は消費低迷や暖冬の影響等により引き続き低調に推移したと見込まれています。

こうした環境下、当社グループは全力を挙げて業績の確保に努めましたが、売上高は計画を若干下回り、経常利益と純利益は計画を下回りました。

なお、当社は平成15年10月1日付けで愛知県安城市他において営業しておりました小売事業部・携帯電話代理店事業部および開発営業部を(株)バーデンとして会社分割しました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高21,746百万円、経常利益244百万円、当期純利益105百万円になりました。また、当期の設備投資は210百万円であり当該資金は自己資金により充当しております。

次期の見通し

日本経済は、企業収益の改善や日経平均株価の持ち直しに加えて個人消費の一部に明るさが見え始めており、カー用品アフターマーケットにおいても需要の早期回復が待たれますが、雇用と所得の改善が遅れているため先行きにはなお不透明感が残るものと見込まれます。

こうした環境下、当社は来たる創業40周年を新たな飛躍のステップと位置付けて経営改革にチャレンジする所存であり、高中級アルミホイールを中心とした商品開発の強化、営業総合力強化による重点商品拡販、商品管理徹底による在庫効率改善、会社の活性化等経営諸施策を鋭意推進してまいります。

これらを踏まえた通期の連結業績見通しは、売上高22,800百万円、経常利益385百万円、当期純利益190百万円を見込んでおります。

● 連結財務諸表 ※第38期は単体決算です。

貸借対照表（要約）（単位：百万円）

科 目	第39期	第38期	第37期
	平成16年3月31日現在 連結	平成15年3月31日現在 単体	平成14年3月31日現在 連結
（資産の部）			
流動資産	8,760	9,148	9,962
現金及び預金	539	748	808
受取手形及び売掛金	4,363	5,356	5,729
たな卸資産	2,736	2,444	2,332
繰延税金資産	152	187	160
その他	989	454	951
貸倒引当金	△21	△43	△20
固定資産	3,645	3,342	3,647
有形固定資産	2,045	2,060	2,242
建物及び構築物	835	894	982
土地	1,019	1,019	1,019
その他	178	146	240
建設仮勘定	11	—	—
無形固定資産	28	38	10
投資その他の資産	1,572	1,243	1,395
投資有価証券	619	185	452
繰延税金資産	10	51	3
その他	974	1,038	970
貸倒引当金	△32	△31	△31
資産合計	12,406	12,490	13,610

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

科 目	第39期	第38期	第37期
	平成16年3月31日現在 連結	平成15年3月31日現在 単体	平成14年3月31日現在 連結
（負債の部）			
流動負債	4,733	5,256	6,842
支払手形及び買掛金	1,081	1,316	2,235
短期借入金	2,410	3,000	3,750
未払法人税等	28	220	220
賞与引当金	114	135	189
その他	1,099	584	446
固定負債	1,795	1,622	1,144
長期借入金	1,325	1,200	750
繰延税金負債	48	—	—
退職給付引当金	258	286	253
役員退職慰労引当金	145	118	123
その他	17	17	17
負債合計	6,528	6,879	7,987
（資本の部）			
資本金	—	—	852
資本準備金	—	—	802
連結剰余金	—	—	3,960
その他有価証券評価差額金	—	—	8
資本合計	—	—	5,623
資本金	852	852	—
資本剰余金	802	802	—
利益剰余金	4,125	3,963	—
その他有価証券評価差額金	97	△7	—
自己株式	△0	△0	—
資本合計	5,877	5,610	—
負債・資本合計	12,406	12,490	13,610

損益計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第39期	第38期	第37期
	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで 連結	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで 単体	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで 連結
売上高	21,746	22,136	23,290
売上原価	17,520	17,797	18,730
売上総利益	4,226	4,339	4,559
販売費及び一般管理費	3,899	3,988	4,206
営業利益	326	350	353
営業外収益	192	127	211
営業外費用	274	109	80
経常利益	244	369	484
特別利益	—	83	410
特別損失	40	137	440
税金等調整前当期純利益 (税引前当期純利益)	204	315	454
法人税、住民税及び事業税	47	230	268
法人税等調整額	51	△63	△62
当期純利益	105	149	249

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第39期	第38期	第37期
	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで 連結	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで 単体	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで 連結
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	554	438	1,366
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△248	△138	△187
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△515	△333	△1,056
IV 現金及び現金同等物の増減額	△208	△33	122
V 現金及び現金同等物の期首残高	748	781	822
VI 連結子会社の減少に伴う現金 及び現金同等物の減少額	—	—	△137
VII 現金及び現金同等物の期末残高	539	748	808

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

ウェッズ・ルネッサンス運動 ～人間尊重による会社活性化～

お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、
会社の繁栄と安定を追求して株主利益の向上と社員のライフプランを充実

経営課題

営業体制の強化

組織変更 (本年4月1日付)

- 広域営業本部の設置
(広域ユーザー本部への営業強化)
- GT用品本部の設置
(GT用品販売の拡大・原価低減活動強化)
- 営業所支援グループの設置
- 営業所統廃合
(岡山営業所閉鎖・大阪/広島営業所強化)

PDCA管理の再徹底

- 目標明確化と進捗管理徹底
(ターゲット販路攻略強化)

利益体質の強化

利益体質の強化

- 冬型商品依存体質からの脱却
(上期の売上ウェイト改善)
- 商品開発力の強化
(他社に差別化できる高中級アルミ開発/
品質保証体制の充実)
- 商品管理の強化
(適正在庫管理・納期管理の徹底)
- コスト削減
(物流コスト削減)
- 新規事業の基盤構築

●沿革

昭和40年10月	大阪市西区にて設立。日宝(株)としてスタート。 日産自動車販売(株)へ新車添付品を納入。
昭和44年 2月	中央精機(株)製カスタムホイール「エルスター」を西日本地区発売元として販売開始。
昭和48年11月	社名を(株)ウェッズに変更。本社を東京都港区に移転。
昭和62年 9月	ダイシン商事(株)と合併。本社を愛知県安城市に移転。
平成 2年 7月	岡崎物流センター開設。
平成 8年10月	自動車用品販売店「カーランドバーデン」1号店を愛知県安城市に開店。
平成 9年 9月	日本証券業協会の承認を得て株式を店頭登録。
平成10年 7月	「カーランドバーデン」2号店を浜松市に開店。
平成15年10月	流通事業部門(小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部)を(株)バーデンとして分社化。
平成15年11月	本社を東京都大田区に移転。

更なる市場競争力拡大とシェアアップを図る 高中級ニューデザインアイテムを今年も続々と投入！



クレンツェLXZ



ヴィレンズT-SPOKE



ベローナWAL



ベローナWAF



ファーマスM-Revolt



ラウフェンゼクスブラット



SA-90 FARGED



レオニスVM



レオニスIS



レオニスDD

当社では第40期（平成16年3月期）春・夏向けニューデザインアイテムを10機種開発し2004年1月より市場に向け販売開始いたしました。

トップブランドであり市場及びユーザー認知度抜群で当社ホイールの「顔」である「クレンツェ」シリーズに、今年は市場で好評を得ていた既存シリーズとデザインで一線を画す「LXZ」（エル・エックス・ズィー）を投入。「LXZ」は今までに無い「逆ズリ」でありながらリムが深く、フィンスポークでありながら「力強くシンプル」という昨今流行のシンプルラグジー系ホイールの中にあって際立つ存在感を示し、今まで以上の好評と支持を幅広くいただき、「クレンツェ」シリーズのブランド地位を更に確固たるものに押し上げ昨年度を上回るペースでの販売を記録しています。

またSUV車のトップブランドであるトヨタ「ランクル100」用専用に20インチの「LXZ」専用サイズを設定していることも今までに無い特徴として、ランクル100ユーザーファンから絶大な支持を得ています。他の高級ブランドである「ヴィレンズ」シリーズにはニューアイテムデザイン「T-SPOKE」を「ベローナWA」シリーズには「WAL/WAF」のニューアイテムデザインと19インチ（一部デザイン除き）を追加しパッセンジャー向け高級組立てホイールカテゴリーにおいて磐石なシリーズを築いています。

ミドルブランドとして市場で9年の実績と知名度を誇る「ファーマス」シリーズにはメッシュデザイン、アッシュクローム採用の「M-Revolt」を、同じく7年の実績で知名度抜群の「レオニス」シリーズ

には「VM/IS/DD」の3デザインアイテムを一挙に投入し同シリーズカテゴリーの充実と市場シェア強化を図り販売数もそれに比例し伸びています。発売3年目の「Laufen」シリーズには「ハイパーシルバークロム」と呼ばれる新色を採用したラフメッシュノーマルリムデザインの「Zecksblatt」を、市場で好調な軽～コンパクトカーに対応する幅広いサイズアイテムで投入しました。ブランド知名度を「クレンツェ」シリーズと二分する「Weds Sport」には本格的鍛造超軽量の18/19インチ「SA-90Forged」を、ラリー・ダートラなどグラベル競技での使用を前提とした「SA-90GRAVEL」を「SA-90」シリーズに新たに投入し、シリーズのフルスペックによる充実で今まで以上の販売好調によってシリーズシェアアップと市場競争力強化に成功しています。



スティールホイールキャップ

レガシィ用静止ホイールマークキャップを開発、スバル用品株式会社へ納入開始!!

当社が2001年春、国内で始めて発売した走行中もオーナメントが静止する「静止ホイールマーク、イベンター」の基本技術をベースに現行レガシィ純正17/18インチアルミホイールに対応する「スティールホイールキャップ」をスバル用品株式会社からの開発依頼を受け約3年の歳月をかけて新たに開発、この春よりスバルディーラー専用モデルとして納入を開始しました。今後は他のスバル車への装着展開拡大と、他カーメーカーへの採用を目指します。



ウェッズ
キャンペーンガール
若槻 千夏



決起会風景

販売店を招待した「ニューイヤーミーティング2004」開催!!

毎年千葉の幕張で行われている「東京オートサロン2004 with NAPAC」に本年度も出展し多くの一般ユーザーや取引先にオリジナル商品をアピールしました。

この展示会は全国より多くの取引先が注目し来場する展示会でもあります。そこで今回初めての試みである取引先を招待した販売促進企画「ニューイヤーミーティング2004」を幕張メッセ展示会場に隣接する国際会議場にて開催いたしました。

毎年春季3月1日～5月31日に開催する「ウェッズスプリングキャンペーン2004」の内容説明、新製品や特価商品のご案内、また2004年度ウェッズキャンペーンガールの“若槻千夏”さんも交えトークショーを行い、取引先様には大変好評で多くの受注活動にも繋がりました。ウェッズでは新たな販売推進に繋がる活動を本年度も続々計画実施いたします。



今年こそクラス優勝!!「全日本GT選手権(JGTC)」 今年度も参戦決定!!

今年も日本のモータースポーツのトップカテゴリーである全日本GT選手権に参戦!! 昨年は2回もの優勝を獲得、今年は昨年のGTセリカに新たなモディファイを行い戦闘力もアップ!! 本年度は、トップドライバーである青木孝行選手と、今大注目のモータースポーツ「D1グランプリ」で大活躍中の谷口信輝選手をセカンドドライバーに起用し、チームの戦闘力アップと、多くのファンからの注目度もバツグンで“ウェッズスポーツ”ブランドの認知度アップに貢献しています。

今年こそはクラス優勝を獲得する事と思います。なおレース結果はウェッズオフィシャルホームページで随時掲載中! ご期待ください!

● 会社の概要・株式情報 (平成16年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.
本社 東京都大田区大森北1-6-8
東伸24大森ビル6階
設立 昭和40年10月12日
資本金 8億5,275万円
従業員数 133名
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員

取締役会長 上坂良夫
取締役社長 (代表取締役) 川口修
常務取締役 谷越時義
取締役相談役 永井秀哉
取締役 加藤寛夫
取締役 大村正夫
取締役 畑井勇喜雄
取締役 山口義弘
取締役 伊澤秀
常勤監査役 井上正明
常勤監査役 川崎史博
監査役 清水延能

※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。

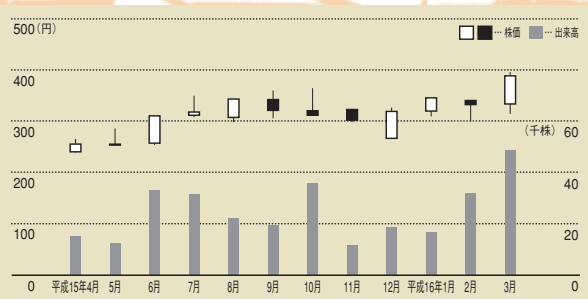
※監査役井上正明氏及び清水延能氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 会社が発行する株式総数 ……17,780,000株
■ 発行済株式総数 ……4,445,000株
■ 株主数 ……627名
■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.50
石原勝成	320,159	7.20
株式会社UFJ銀行	222,000	5.00
ウェッズ従業員持株会	139,710	3.14
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
根津昭	100,700	2.27
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	60,500	1.36

■ 株価推移



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 配当金受領株主 3月31日
確 定 日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株 式 名 義 書 換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(お問合せ先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03 (3323) 7111 (大代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 ☎ 0120-87-2031

ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

